

令和 2 年第 2 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 令和 2 年 2 月 19 日 (水)

午後 4 時 00 分～午後 6 時 20 分

2 ところ 教育委員室

3 出席委員

天野教育長 高橋教育委員 齋藤教育委員 土肥教育委員 今野教育委員

4 説明員

森川教育部長 阿部学務課長 高橋学務課長補佐 桜井学務課長補佐

村上指導室長 日下学校給食センター所長 谷村生涯学習・スポーツ振興課長

谷川生涯学習・スポーツ振興課長補佐 青木総務係長

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| 議案第 1 号 | 美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件 |
| 議案第 2 号 | 美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件 |
| 議案第 3 号 | いじめ問題審議会委員委嘱の件 |
| 議案第 4 号 | 美唄市学校施設個別施設計画及び教職員住宅個別施設計画の
策定の件 |
| 議案第 5 号 | 令和 2 年第 1 回市議会定例会補正予算案件提出の件 |
| 議案第 6 号 | 令和 2 年度 教育委員会予算(案) |
| 議案第 7 号 | 令和 2 年度 美唄市教育行政執行方針 |

概要記録

16:00

●天野教育長 ただ今から、令和2年第2回美唄市教育委員会議を開会します。順序第1 会議録署名委員に齋藤委員を指名します。次に順序第2 会期の決定につきましては本日1日とします。次に順序第3 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明をお願いします。

●森川教育部長 まず、行事報告等の説明の前に本日、学校給食センターの日下所長が公務のため、遅れて出席しますことを報告いたします。それでは資料に基づきまして教育長報告について説明いたします。

※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2

）

●天野教育長 教育長報告、行事報告・行事予定について事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●天野教育長 なければ次に移ります。次に順序第4 議案第1号 美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件について、事務局から説明をお願いします。生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 議案第1号、美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件についてご説明いたします。本件は、郷土史料館を拠点とし、地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくりの一環として、郷土史料を活用しながら、子供たちに、住んでいるまち美唄に誇りや愛着を育むとともに、市民との協働により、美唄の歴史や美唄の良さの再発見につなげる活動を進めるために、だれもが利用しやすい環境とする必要があることから、入館料及び使用料を無料とする改正を行うものです。郷土史料のイメージと書かれた横書きの資料をご覧ください。左上の郷土の歴史に対する現状を右上の目標・目的として、今後どのようにしていくかを記載しておりますが、それを図解したものが、その下にポンチ絵としてありますので、それをご覧くださいながら、もう少し詳しい説明をさせていただきます。

左上に郷土に対する現状と書かれておりますが、それに対して、右上に目標、目的と書いてありますが、それらに今後どのようにしていくかというのをポンチ絵と示しております。郷土史料館において、歴史資料の収集、分析、認識、保存し、美

唄の歴史や良さを蓄積しながら、下にあります活用として、子供向け講座、地域人材活用、学校との連携や資料の公開・展示など行い、中央にあります目標の達成に向けて事業展開しようとするものであります。歴史資料の収集するうえで、地元の歴史を知る人材や地域の方の記憶や経験などを収集することが重要であると考えており、だれもが気軽に郷土史料館へ情報を提供していただける環境が必要と考え、入館料及び使用料の無償化を図るものです。施行期日は令和２年４月１日となっております。以上、ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

●天野教育長 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、何かご質問等はございませんか。齋藤委員。

●齋藤委員 この件については、説明のあった、郷土史料館活用のイメージについては、非常に賛成です。ただ、それとあわせて無償化までする必要があるのか、という考えを持っています。無償化については、いつでもできるのではないかというのが、率直な意見です。この話を聞いてから、それ程の日数が経過をしております。もう少し議論をする必要があるのではないかというのが私の考えです。同じ無償化をするのであれば、すずらん商店街がありますが、そこで食事をしたり、買い物をしたりした人に、無料チケットを渡すとか、郷土史料館自体駐車場のない施設ですから、コアビバイで買い物をした人が駐車チケットをもらえるなど、そのような仕組みをつくりながら地域を盛り上げていけるような活動をするのも一つだと思います。ただ、無償化するのは、どうかと思います。

●天野教育長 これに対し、事務局から説明はありますか。谷村生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 今回の条例改正についてですが、美唄に住んでいる人や美唄にゆかりのある方が持っている記憶ですとか、経験、それらが美唄の歴史になっていくのですから、それらを多く集め、正しく分析をし、未来の子供たちにつなげていくということをイメージしています。たくさんの情報を得るためには、少しでも多くの方に郷土史料館に来ていただく必要がありますから、無償化をしてたくさんの人に足を運んでいただくためにも、今回の条例改正案として、提案させていただく考えです。

●齋藤委員 よろしいでしょうか。

●天野教育長 齋藤委員。

●齋藤委員 今回の議会に提案しなくても良いのではないのでしょうかという意味です。

●天野教育長 教育部長。

●森川部長 美唄市内に住んでいる方、あるいは、昔、美唄に住んでいた方に、美唄にいらした時にでも、郷土史料館に足を運んでいただき、皆さんが持っている、あるいは知っている美唄の歴史や経験、美唄の良さについて、語っていただいたりして、情報を収集、保存、分析などしていき、学校との連携ですとか郷土史料館での展示、あるいは市民講座など活用をしていくためにも、足を運んでいただきやすい環境を整えていくためにも郷土史料館の無償化が必要だと考えの基に今回の提案となりますことをご理解いただきたいと思います。

●土肥委員 よろしいでしょうか。

●天野教育長 土肥委員。

●土肥委員 私は、無償化については歓迎すべきことだと思います。ただ、そのことによって利用者数が増えて活性化につながるかというと、そうではないように思います。無償化をする前に郷土史料館を変えていく必要があるのではないかと思います。どのように変えていくかが、ここに示されていますが、どのように変えていくかをもう少し練りあげて欲しいと思いました。齋藤委員と同じで、無償化に関しては、今すぐに必要だと思わないのが私の印象です。

●今野委員 よろしいでしょうか。

●天野教育長 今野委員。

●今野委員 私も今、緊急に無償化をするべきでないと思っています。その理由は昨年の第2回の教育委員会議の条例改正で入館料を値上げしていますが、必要だから値上げをしているので、入館料をただにしたからといって、急に入館者が増えるかと言うとそうではないかと思っています。郷土史料館のイメージが示されていますが、これを大改革すべきではないかと思っています。今の入館料の倍の料金を払ってでも来たいと思う魅力づくりが最優先ではないかと思っています。無償化は、その先の話で可能だと思いますが、今はすべきではないと思います。

●天野教育長 他にご意見はございませんか。教育部長。

●森川教育部長 入館料を無償にすることにより、利用が増えるという考え方ですけれども、情報をやり取りする場であったり、情報を活用するための相談、企画、市民との協同、そういった活動を気軽にできる環境があって、ポンチ絵にあるような状況が活性化していくものと考えています。まずは、利用が増えるというよりは、このように人と人との行き来が活性化する環境の提供を考えております。このような環境づくりが大人の経験や知識を子供たちに伝えることが、ポンチ絵の目的にあるように人づくり、まちづくりにつながると考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

●天野教育長 ただ今、事務局から回答がありました。何か委員の方から質問はありませんか。齋藤委員

●齋藤委員 一つ質問よろしいでしょうか。無償化を市民に伝える方法は、どのようにお考えでしょうか。

●天野教育長 生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 広報紙やホームページはもちろんですが、いろいろな形での周知方法があるかと思います。無償化について、周知をしていく中で、いろいろな人が郷土史料館を利用していただけたらと思っています。利用をしていただいた人から人へと行った、言葉が適当かはわかりませんが、草の根的な活動を通じ、広まっていくような周知活動も行っていきたいと思っています。

●天野教育長 他にいかがでしょうか。土肥委員。

●土肥委員 通年、郷土史料館を通年で開館する形になっていくかと思いますが、人員の配置については、どのようにお考えでしょうか。

●天野教育長 生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 説明資料の中にありますとおり、今後、郷土史料館の業務量が増えていくことも考えられますので、市長部局に対しましては、人員の増員をお願いしているところです。また、あわせて、通年ということになりますので、それに見合った人員の配置をお願いしているところでございます。

●天野教育長 よろしいでしょうか。

●土肥委員 はい。

●天野教育長 他にありますか。今野委員。

●今野委員 興味のない人にとっては、どんなに情報を発信しても受け入れられない、目を向けないというのが、普通だと思います。先程、齋藤委員の発言にあった、買い物をしたときに、無料券を配布するというのは、大変、良い考えだと思います。買い物をした全ての年代の人が、必ず手に取ったものは、必ず見ると思います。史料館と名称が書かれているのを見て、行ってみようかなという人も現れるのでは、ないかと思います。今すぐ無償化にするのではなく、史料館に興味を持ってもらえるような方策を考えるほうが良いのではと思います。

●土肥委員 よろしいですか。

●天野教育長 土肥委員。

●土肥委員 無償化にすることによって、メリットを受けるのは誰かと考えたときに、どうしても郷土史料館を運営している人達の出入りのために聞こえてしまいます。郷土史料館の運営について、相談するのであれば、何も郷土史料館に足を運ん

でもらう必要はないと思うので、市民のための無償化である理由をもう少し聞かせてもらえたらと思います。

●天野教育長 他に委員からありますか。高橋委員。

●天野教育長 生涯学習・スポーツ振興課長。

●谷村生涯学習・スポーツ振興課長 無償化ということで提案をさせていただいておりますが、無償化したあとに郷土史料館の活用ということで、資料の中で説明をさせていただいておりますが、いろいろな形で収集した歴史や美唄の良さを子供たちに伝えていくための講座、子供たちが昔遊んだような遊びを伝承するような講座は、来年度、考えておりますが、学校との連携ということで小学校3、4年生が、それぞれ、授業の中で郷土史料館を利用させていただくこととしています。この時には、元々、入館料は無料となっておりますが、興味を持った子供たちが次に郷土史料館に来るときには、有料となっておりますので、無償化することにより、学校での学びの続きが気軽にできるようになります。また、資料の公開、展示という点では、これまで、入館料をお支払いいただかないと展示している資料を見ることができませんでしたが、興味のない方が、無償化することにより、気軽に足を運んでいただく環境をつくるということは、美唄市民にとって有益だと考えています。

●天野教育長 教育部長。

●森川教育部長 課長から活用の例示をさせていただきましたが、このような活動をすることによって、子供や遠方にいて美唄を故郷としている大人や高齢者を含めた地域にいる大人などが集まり、事業の企画や情報の収集、地域での言い伝えや歴史を子供たちが触れることができたり、あるいは、学校で習った郷土や歴史について、もう一度、郷土史料館にいった確認をしたり、谷村課長からもあったように、郷土史料館で活動の輪を広げていってもらう中で、美唄の歴史や言い伝えなどが、もしかすると美唄の宝物になるかもしれないということも考えられます。また、例えば、しめ縄づくりなどを通じて、子供たちに美唄の歴史を伝えることになる、ひいては、美唄の宝物を伝える活動にもなる。たまたま、しめ縄づくりを例にとりましたが、このように輪をたくさん広げていき、活動の拠点とすることが、郷土史料館の活用イメージとしていきますので、そのために4月から無償化をさせていただきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

●天野教育長 ただ今、事務局から説明がありましたが、委員の方から何かありますか。齋藤委員。

●齋藤委員 自分の母親は、今、足を悪くしていますが、状態のよかった時にはコアビバイの中を歩いて散歩のようなことをしておりまして、時には、休んでいると

きに、他のお年寄りと顔見知りになるようなことが、結構あるようです。そのような人たちが、郷土史料館に足を運ぶような、仕組みづくりが必要ではないかと思います。例えば、コアビバイの中に郷土史料館を無料にしましたとお知らせのポスターを貼っても誰も見ないと思います。それならレストランで、郷土史料館無料にしましたと書いた紙をもらった方が、たくさんの方が郷土史料館に行くと思います。今一度、立ち止まって無償化の議論を時間をかけて行うべきだと思います。

●天野教育長 教育部長

●森川教育部長 ここで、答弁準備に時間をいただきたいと思います。10分程。いただきたいと思います。

●天野教育長 認めます。10分後に再開いたします。

<休会>

●天野教育長 再開いたします。教育部長。

●森川教育部長 答弁準備に時間を要しまして、申し訳ございませんでした。郷土史料館の無償化につきまして、教育委員の皆様から、さまざまな意見をいただきました。その意見を踏まえまして、たくさんの人に来ていただく周知活動や仕組みづくりが必要ではないかとの意見を受け止めたところでございます。郷土史料館を無償化にすることの動機である活用、活動を中心に充実するということが、郷土史料館に人を呼び込む、あるいは郷土史料館を活動の拠点とすることは、私どもも考えていたことでございます。この二つを充実させていかねければならないという考えでおりますので、郷土史料館の無償化につきまして、ご理解とご協力をお願いいたします。以上です。

●天野教育長 委員の方から質問、ご意見はありませんか。齋藤委員。

●齋藤委員 今の話で概ね理解をさせていただきました。要望になりますが、子供たち並びに地域の方々が、気軽に郷土史料館に足を運べるよう、すずらん商店街がありますので、そこを巻き込み、多くの方々に利用をしていただきますよう、よろしくお願いいたします。

●天野教育長 他にご意見はありませんか。今野委員。

●今野委員 郷土史料館の無償化に反対をしていた訳ではありませんが、郷土史料館の無償化を議論していく中で、美唄市民に対する還元方法ですとか、活用の方法がわかりましたので、今後、発展をしていくということなので、多少、やむを得ずという面もありますが、同意をいたします。

●天野教育長 他にありませんか。高橋委員。

●高橋委員 無償化については、問題がないかと思いますが、議論が足りなかった部分があるのではないかと思います。駅前にもホテルもできますし、何らかの形で多くの方が、郷土史料館を利用していただけるような形の取り組みをしてください。

●天野教育長 他に何かございませんか。他にないようですので、議案第1号、美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件については、ご同意をいただいたということでよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第1号、美唄市郷土史料館設置条例の一部改正の件については、原案どおり、議会に提案することとします。

●高橋委員 ここで、仕事の関係で退出をさせていただきたいと思います。他の議案につきましては、委任をいたしますので、よろしくお願いいたします。

●天野教育長 高橋委員の退出について許します。次に議案第2号、美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件について、議題とします。学務課長。

●阿部学務課長 議案第2号、美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件につきまして、ご説明いたします。次のページをご覧ください。新旧対照表がついておりますが、学校運営協議会、コミュニティスクールのごとでございます。コミュニティスクールの協議会の委員を、第8条でございますが、現在、15名以内と決めておりますが、これを16名以内に改正する考えでおります。改正の理由であります、峰延小学校が中央小学校と統合されます。これに伴い、峰延地区の方にも中央小学校のコミュニティスクールに参加させていただきたいということで、1名以上と考えているところです。私からは、以上であります。よろしくお願いします。

●天野教育長 ただ今、議案第2号、美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件について事務局から説明がありましたが、何かご質問等はありませんか。ないようですので、議案第2号、美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件については、ご同意をいただいたということでよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第2号、美唄市学校運営協議会規則の一部改正の件については、原案どおり可決いたします。次に議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件について、説明をお願いいたします。指導室長。

●村上指導室長 それでは、議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件について、これにつきましては、美唄市いじめ問題審議会条例第5条の規定により、次のとおり審議会の委員を委嘱するとしております。いじめ問題審議会委員に委嘱するもの

は、花田亜希子氏、医師でございます。美唄市医師会に所属をしております、推薦についても同会から受けております。次に白井啓裕氏、本市の適応指導教室指導員でございます。退職校長会に所属をしております。次に三澤祥子氏、介護認定調査員、美唄市PTA連合会から推薦をされており、所属は東小学校PTAでございます。次に石川正人氏、北海道教育委員会から派遣、スクールカウンセラーでございます。次に平野良明氏、札幌国際短期大学学長、北海道教育委員会の北海道いじめ問題審議会委員でございます。以上の5名に委嘱を考えております。関係資料としまして、関係条文の抜粋を下に示しておりますので、ご確認をいただき、議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件について、説明を終わらせていただきます。よろしくご審議のほど、お願いいたします。

●天野教育長 ただ今、事務局から議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件について説明がありましたが、ご質問等はありませんか。ご質問がないようですので、議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件について、ご同意いただけますでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第3号、いじめ問題審議会委員委嘱の件については、原案どおり可決といたします。次に議案第4号、美唄市学校施設個別施設計画及び教職員住宅個別施設計画の策定の件について、事務局から説明をお願いします。学務課長。

●阿部学務課長 それでは、議案第4号 美唄市学校施設個別施設計画及び教職員住宅個別施設計画の策定の件でございます。表紙を1枚めくっていただきたいと思います。まず、1ページ目の1、背景・目的についてですが、国は平成25年に「インフラ長寿命化計画」を策定しました。これを踏まえて平成27年3月には、文部科学省が「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を策定しました。これらを受け、美唄市では平成29年3月には、「美唄市公共施設等総合管理計画」を策定しております。この計画の下に「美唄市学校施設個別施設計画」があります。この計画は、小学校、中学校の保有する施設の長寿命化に係る計画をしたものであります。この計画を策定することにより、1－2の目的にありますとおり、美唄市内の小中学校につきましては、昭和40年代から昭和50年代に掛けて整備したものでございますが、老朽化が進んでおり、維持管理費や大規模な改造に伴う工事費の増大が予想されるところで、これらの費用を用意しておくためにも、文部科学省が、各自治体に計画の策定を促した経緯があります。この計画を策定することにより、学校の大規模改修や新築など行う際に、学校施設改善交付金という補助金がありますが、この補助金を

受けられるようになります。このため、美唄市としても、この計画を策定しなければいけないと思っていますところ。次のページをご覧ください。2の学校施設の目指すべき姿ということで、美唄市では個に応じたきめ細かな指導の充実を図ることとしています。ICTを活用した授業の推進や特別支援教育に対応した施設設備を図りますということにしています。2-2では、豊かな心と健やかな体を育成する安全な施設環境の実現ということで、園児、児童、生徒が安心して有意義な学校生活が過ごせるよう、防犯や施設の安全など安全性に配慮した施設整備を進めていくことをうたっております。次に8ページをご覧ください。4の劣化状況の調査とありますが、調査方法についてですが、建築基準法の12条に基づき、3年に1度行っており、都市整備課の協力のもと、行っております。評価基準については、屋根や屋上につきましては、目視評価を行っております。建物内部の状況や電気設備、機械設備は、建築年数に応じて判断しても構わないことになっておりますので、A B C Dの判断をしているところです。9ページについては、例えば峰延小学校については、今年度で閉校となりますが、昭和53年の建物で、南美唄小学校につきましても、来年度で閉校となりますが、同じく昭和53年の建物。中央小学校につきましても、ただ今、大規模改修を行っておりますが、昭和47年の建物でございます。東小学校についても、昭和47年の建物ということで、中央小学校と同じ年代の建物でございます。各校の評価につきましては、AからDまでの評価で示されていますが、特に中央小学校については、ただ今、大規模改修を行っておりますので、評価が大きく変わらなと思っています。中学校につきましては、美唄中学校が昭和60年の建物、南美唄中学校につきましては、来年度で閉校となりますが、昭和51年の建物、東中学校については、昭和57年の建物でございますので、建設してから40年から50年経過をしています。13ページをご覧ください。6、学校施設整備の基本的な方針となっておりますが、文部科学省では、長期的には、定期的に回収を行っていくことで、RC構造といいまして、耐用年数が65年程度と言われておりますが、耐用年数の延命化をすることができるとしてあります。今現在も中央小学校では大規模改修を行っておりますが、基準年数である65年、建物の寿命を持たせようとして行っているものです。このような記載になっておりますが、現在、市長が掲げております、小中学校と一体となった生涯学習センター構想がありますが、これを進めていかなければならないと考えておりますので、現状ではこのような内容になっておりますが、構想を進める際は、計画の内容が大きく変わっていくものと思っています。この計画は、小学校、中学校に限られたものですが、市全体では公営住宅や下水道、橋、道路等といった公共施設があり、それらは美唄市総合管理計画に基づいており

ます。それぞれ個別に計画が定まっていたときに、パブリックコメント等の手続きを踏んで、美唄市総合管理計画として策定されるものと思われます。次に美唄市教職員住宅個別施設計画をご覧ください。これは美唄市独自の計画となっており、教職員住宅について、個別に計画したものです。1 ページ目をめくっていただきますと、1、教職員住宅一覧とあります。美唄市内にある教職員住宅 1 から 11 とありますが、一昔前までたくさんの教職員住宅がありました。が、老朽化が進み使えなくなりましたので、用途廃止をしたり、売却をしたり、解体などをして、現在残っているのは、11 戸となっております。この計画を策定したのは、修繕を行ったときに、有利な起債ができるということで、財政課の指示により、策定をしたものです。今後につきましては、維持していくにも財源として有利なものも見つからないことから、少しずつ普通財産に移行をし、売却をしていくことになるかと思います。現在は、携帯電話があるので、先生方が民間のアパート等に住んでいても、すぐに集まることが可能ですし、学校の統廃合が進み、小中学校が 4 校となりますので、職員住宅の整理をしていくことが課題とされているところです。この計画につきましては、修繕等があったときに少しでも有利な起債ができるように必要となりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。私からは以上です。

●天野教育長 ただ今、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、何かご質問はありますか。質問がないようですので、議案第 4 号、美唄市学校施設個別施設計画及び教職員住宅個別施設計画の策定の件について、ご同意いただけますでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第 4 号、美唄市学校施設個別施設計画及び教職員住宅個別施設計画の策定の件については、原案どおり可決したものとします。次に議案第 5 号、令和 2 年第 1 回市議会定例会補正予算案件提出の件について、議題とします。説明を事務局からお願いします。学務課長。

●阿部学務課長 議案第 5 号、令和元年度補正予算について、ご説明をいたします。はじめに歳入歳出予算の補正につきましては、補正額 4,018 万 3 千円でございます。補正後の予算総額を 9 億 5,224 万 6 千円としています。補正予算 2 件ございますが、1 件目は、教育総務費になりますが、私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業というものと、もう 1 件は中学校費ですが、中学校コンピュータ教育事業でございます。次のページをご覧ください。事業名が私立幼稚園施設型給付費負担金交付事業というものでございます。市内に私立の幼稚園がめぐみ幼稚園とアカシヤ幼稚園がありますが、こども子育て支援制度に移行をしております。事業を展開していますが、

今回の歳出の補正額が 764 万 4 千円でございます。これに対し国の補助金が 280 万 3 千円、北海道からの補助金が 241 万 8 千円、美唄市からの支出が 242 万 1 千円としております。今回の補正予算の理由であります、資料の右下に事業の内訳がありますが、新しい支援制度の取り組みについては、幼児保育の質の向上の取り組みがあります。国の補助金のメニューにあるものを実施しますと補助金の対象となり、国、道、美唄市がそれぞれ、定められた割合に応じて負担をすることとなっております。今回は、アカシヤ幼稚園で、チーム保育を行ったということで、チーム保育というのは、3 歳から 6 歳未満時の保育で 1 人の先生を雇用して、少ない人数の先生で質の高い保育をするというもので、これを行うと国、道、美唄市から補助金が出るという仕組みになっています。当初、アカシヤ幼稚園からは、チーム保育を 5 か月間行いますという計画が出されていましたが、実際には、19 か月を実施しておりますので、14 か月間の不足が生じることになりましたので、この度、補正予算として上げさせていただくこととしました。補正予算が認められたのち、3 月に不足分を支払うこととなります。次のページをご覧くださいますと、中学校コンピュータ教育事業ですが、要求額は 3,254 万円です。財源内訳は国から、1,840 万 8 千円、市債が 1,410 万円、一般財源から 3 万 2 千円となっております。さらに国からの補助金を細かく見ていきますと、公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備費補助金と公立学校情報機器整備補助金とになります。今回、国が進めようとしている G I G A スクール構想があり、児童生徒 1 人に 1 台の情報端末を割り当てようと計画していますが、これに即しております。事業内容・事業費等の内訳をご覧くださいと思いますが、I p a d を美唄中学校 84 台、東中学校 84 台、南美唄中学校 17 台、合計 185 台を導入し、学年 1 人 1 台が当たるようにしております。また、無線のアクセスポイントにつきましては、美唄中学校 21 台、東中学校 26 台、合計 51 台の設置を考えています。充電器の保管庫につきましては、美唄中学校 2 台、東中学校 2 台、合計 4 台の設置を考えています。これらの導入は、国の補正予算に乗じたものでありますが、I C T は、電子黒板等もあわせたものをパッケージと考えておりますが、電子黒板の購入については、令和 2 年度の予算に計上をしており、全部ではありませんが、中学校の各学級に電子黒板 1 台を割り当てる予定でいます。以上です。

●天野教育長 ただ今、議案第 5 号、令和 2 年第 1 回市議会定例会補正予算案件提出の件について、事務局から説明がありましたが、委員の皆様から、何か質問はありませんか。齋藤委員。

●齋藤委員 過不足がないよう、十分に機器の整備をしてほしいと思います。

●天野教育長 学務課長。

●阿部学務課長 今回、中学校のコンピュータの導入については、補正予算と令和2年度の予算で整備をしていくことになります。コンピュータ室にもパソコンがありますが、今回、整備することにより、国は1人1台と言っておりますが、小学校はまだ、追いついておりませんが、中学校については、10人に8台が割り当たるような台数になります。来年度以降も、この国の事業が続きますので、引き続き機器の整備を進めていきたいと思っています。

●天野教育長 他にありますか。今野委員。

●今野委員 I p a dの台数には、特別支援学級の児童生徒数も含まれているのでしょうか。

●天野教育長 学務課長補佐。

●桜井学務課長補佐 I p a dの台数につきましては、学級単位ではなく、学年単位の児童生徒数に応じて、購入台数を決めておりますので、特別支援学級の児童生徒も含めた数となっています。

●今野委員 わかりました。

●天野教育長 他にございませんか。ないようですので、採決に移ります。議案第5号、令和2年第1回市議会定例会補正予算案件提出の件については、ご同意いただけますでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第5号、令和2年第1回市議会定例会補正予算案件提出の件については、原案どおり、可決したものとし、令和2年第1回市議会定例会に提案することとします。次に議案第6号、令和2年度 教育委員会予算案を議題とします。事務局から説明をお願いします。教育部長。

●森川教育部長 それでは、議案第6号、令和2年度 教育委員会予算案について、ご説明をいたします。令和2年度の教育委員会の予算については、記載のとおり、前年に比べ総額で2億3,491万円4千円の増額となったところです。次に表1ですが、教育総務費につきましては、前年に比べ約7,100万円程の増額となっております。増額の理由につきましては、スクールバスの購入や私立幼稚園施設型給付費負担金公定価格の改定や会計年度職員制度の移行に伴うものです。小学校費では、中央小学校の大規模改修に伴う増額、一方、幼稚園費では、閉園に伴い、予算額を0としております。社会教育費につきましては、約7,100万円の増となっておりますが、これは、文化遺産保全事業による調査事業と郷土史料館の通年開館に向けた空調設備の整備に伴うものです。2番目には令和2年度に予算化できなかったものと

して、学校関連、学校給食センター、次のページをご覧くださいまして、生涯学習関連、スポーツ振興関連ということで、それぞれ項目ごとに、次年度以降に内容の検討を行い、再度、予算要求を行っていくものと思っていますところ。さらに次のページにつきましては、当初予算についての学校関連分、次のページに生涯学習・スポーツ振興関連分について、それぞれの増減の詳細を記載しています。私の方からの説明につきましては、以上でございます。

●天野教育長 ただ今、事務局から議案第6号、令和2年度 教育委員会予算案について、説明がありましたが、ご質問等、ありませんか。それでは、議案第6号、令和2年度 教育委員会予算案について、ご同意いただけますでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 議案第6号、令和2年度 教育委員会予算案について、原案どおり決定いたします。次に議案第7号、令和2年度 美唄市教育行政執行方針について、説明をお願いします。教育部長。

●森川教育部長 議案第7号、令和2年度 教育行政執行方針案につきまして、その概要をご説明いたします。1 はじめにのところですが、教育行政についての認識ということで、近年の急激な社会の変化に伴う高齢化、人口減少や少子化、情報化、国際化等への予想を超える社会変化や、ソサエティ5.0の超スマート社会の到来を見据える中で、教育の果たす役割は重要であります。小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から、それぞれ完全実施される新学習指導要領では、子供たち一人一人が未来の創り手となる資質・能力を、社会と連携・協働しながら進めていく「社会に開かれた教育課程」の実現を目指しています。また、学校の教育課程では、主体的・対話的で深い学びの実現などにより、将来を担う子供たちに、確かな学力はもとより、健やかな体、豊かな心を身につけ、生きる力を育むことが求められています。また、生涯学習においては、市民の皆さんが、生涯にわたって学び続け、その学びを享受し、まち全体の活気へとつながるよう、社会状況に対応した多様な生涯学習機会の提供が必要となっており、そうした学校教育、生涯学習に関する社会状況等の変化を踏まえた認識を述べた上で、教育委員会としては、「地域に根差し、暮らしに学ぶ」という視点で、地域の豊かな自然環境や歴史、文化を生かした教育を推進し、ふるさとに誇りと愛着を持った人間性豊かな子供たちの育成を目指すとともに、市民の皆さんが自ら学び、活動できる生涯学習を推進していくこと、また、生涯学習により、培った力を子供たちの学びに生かしてもらうなど、学校教育と社会教育とが連携して、地域総がかりで子供を育てる環境づくりを進めていくことを述べた上で、教育の一層の振興と充実に向けて、新学習指導要領や教

育大綱の基本理念に沿って市長部局と連携を図り、各施策を全力で取り組んでいく決意を述べております。続いて2番目の「学校教育」、「幼稚園教育の充実」では、幼児教育に関する認識を述べた上で、改定された国の幼稚園教育要領、保育所保育指針等において、5歳児修了時の「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の共通化が図られたほか、小中学校の学習指導要領や特別支援学校小学部・中学部の学習指導要領の改訂により、P3小学校入学当初の「スタートカリキュラム」の充実や、特別支援教育の充実を含め、初等中等教育の一貫した学びの充実が求められており、このため、幼稚園等と小学校との接続に関する相談や指導・研修等を担当する職員を新たに配置し、市長部局と連携を図りながら、幼児教育の一層の充実を図ってまいりますと結んでおります。次に「確かな学力の育成」では、令和2年度から小学校、令和3年度から中学校で、それぞれ完全実施される新学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の視点に基づく授業改善と教育効果を高める「カリキュラム・マネジメント」の実践が求められています。このため、市内小中学校において、「全国学力学習状況調査」などの結果を分析して教育課程の検証改善サイクルの確立する取り組みを推進するとともに、指導主事等の訪問等を通じた専門的助言の授業反映、校長等により構成される学力向上プロジェクトチームが作成した「確かな学力育成プラン」を活用した授業改善など、その具現化に向けて4ページになりますが、全校が一丸となって取り組んでまいります。これら授業改善に必要とされる教育環境について、小学校においては、平成31年度に、電子黒板・タブレット端末に加え、一部の教科にデジタル教科書を導入し、令和2年度は、中学校において、「児童生徒1人1台コンピュータ」の実現を見据えたGIGAスクール構想に基づく国の補助制度を活用して新学習指導要領に示される教育の情報化に対応した取り組みを推進してまいります。外国語・英語教育については、小学校では英語担当教員の巡回指導などの取組、中学校では、英語担当教員や外国語指導助手とともに英語力向上に向けた授業改善の取組を進めます。特に、小学校教員については、様々な研修等を活用し外国語活動等の指導力と英語力の向上を図ってまいります。長期休業中や放課後の補足的な学習サポートについては、引き続き、退職校長会などの協力を受け実施してまいります。学校と家庭との連携では、「家庭学習の手引き」の継続活用のほか、5ページになりますが、各中学校区のテスト期間中に、幼・小・中・高と一緒に取り組む「美唄市家庭学習強化週間」など、家庭と連携して、望ましい生活習慣と家庭学習の習慣化に努めてまいります。美唄らしい特色ある教育の推進については、グリーン・ルネサンス推進事業を継続しながら、キャリア教育として、仕事への関心を高めてまいります。複式学級がある南美唄小学校については、

学習支援員の配置を継続してまいります。また、市内道立高校との連携については、高校施設を活用した中学校の授業交流を深めるほか、小中高が連携した学習会、市内中学校の1日体験入学や部活動交流など、引き続き、学校が行うPR活動やキャリア養育活動などに対する支援を行ってまいります。「小中学校の適正配置」では、南美唄小学校については、令和3年3月末に閉校、同年4月1日に東小学校と統合することについて、保護者並びに地域と合意したことから、子供たちが戸惑いなく、期待や希望を持って学校生活が送れるよう教育環境の課題整理に努めてまいります。また、6ページになりますが、小中一体となった生涯学習センター構想の検討を進めてまいります。「豊かな心の育成」については、その認識を述べた上で、発達段階に応じて社会奉仕活動などを通じ、ルールやマナーを身に付けさせるとともに、互いを尊重し合うやさしさと思いやりの心を育ててまいります。また、特別の教科 道徳については、各学校の道徳教育推進教師が中心となり、引き続き指導の充実に努めてまいります。不登校児童生徒対策については、引き続き、常勤のスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携を密にするなどにより、7ページの個別の児童生徒の状況に応じた学校復帰につなげる取組を一層充実させてまいります。いじめの対応については、「美唄市いじめ防止本方針」に基づき対応するとともに、教育相談などを通じて未然防止・早期発見に努め、いじめの疑いがある場合には、特定の教職員が抱え込むことなく、組織的かつ速やかに対応するよう、各学校へ指導を徹底してまいります。近年スマートフォンやSNSを使って、失敗したことがある児童生徒が増加傾向にあることから、情報モラル教室を実施するほか、PTA連合会と連携し、市内統一ルール「美唄市小中ネットスマホルール」を作成して、啓発を進めてまいります。学校や家庭における体罰・虐待については、いかなる場合も教職員による体罰は、厳に禁止されているものであり、絶対に許されるものではないという基本認識をすべての教職員が自覚し、体罰の防止が図られるよう学校長に指導してまいります。また、家庭内での虐待については、防止・根絶に向けて、市長部局、児童相談所等と連携し対応して参ります。登下校時などの安全対策については、地域の皆さんのご協力をいただきながら、8ページになりますが、見守りや交通安全指導、通学路の安全点検などを行うほか、警察のご協力をいただき、防犯訓練等を実施してまいります。中央小学校において、北海道の協力を得ながら、児童が防災について考える「1日防災学校」を引き続き実施します。

「健やかな体の育成」については、その認識を述べた上で、家庭と連携して、啓発と指導に努めるほか、栄養教諭による食に関する指導を通して望ましい食習慣の確立や栄養バランスのとれた食生活を促してまいります。学校給食については、給食

を通じて、食に関する正しい知識などの定着を図るとともに、ふるさと給食事業による学校給食の質の充実に努めるほか、食物アレルギーの対応については、保護者面談や診断書等に基づき、適切にP9対応してまいります。体力の向上については、全学年で運動に親しむ意識の醸成を図り、体力の向上につなげるとともに、「一校一実践」の継続的な取組を通じて運動習慣の確立に努めてまいります。歯の健康については、幼小フッ化物洗口推進事業を継続し、虫歯予防に努めてまいります。薬物乱用防止教育や防煙教育に関する指導については、警察署や医師会などのご協力をいただき、子供たちの正しい判断力と行動力を育ててまいります。「特別支援教育の充実」については、その認識を述べた上で、切れ目のない一貫した教育が行われるよう、個別の指導計画の作成・活用はもとより、次ページになりますが、特別支援教育支援員の効果的な活用を図ってまいります。また、専門家チームによる巡回相談のほか、関係機関と連携を図るとともに、教職員の研修などにより、特別支援教育の充実に努めてまいります。「信頼される学校づくり」については、その認識を述べた上で、コミュニティスクールの活動を通じて、地域の方々の幅広い参画による学校運営の改善・充実や地域づくりにつなげるよう取り組んでまいります。また、各学校のホームページの作成支援のためにシステムを導入するなど、各種行事の様子などの情報発信による開かれた学校づくりを進めてまいります。11ページになります。就学援助制度については経済的に厳しい世帯に対する支援として重要な役割を担っており、これまでの支援を継続するほか、PTA会費、生徒会費、クラブ活動費や卒業アルバム代を新たに支給対象に加える拡充を図ってまいります。全市的な取組みとしては、美唄市地域一斉参観日を継続実施してまいります。教職員の不祥事防止に向けては、職場研修等の一層の充実に努め、法令や服務規律の遵守の徹底を図ってまいります。学校における働き方改革については、改正「給特法」の規定に基づき、教師等の業務量の適切な管理を行ってまいります。また、タイムカードによる客観的に計測できるよう努めるほか、教職員の業務負担の軽減等については、学校給食費の徴収・管理にかかる公会計制度の導入を検討してまいります。12ページになりますが、部活動については、美唄市部活動の在り方に関する方針に基づき、教師の指導における負担が過度にならないよう配慮し、部活動が持続可能なものとなるよう取り組んでまいります。教職員の健康管理については、個別相談などを通じて、その充実に努めてまいります。「教職員研修の充実」については、学校ごとの課題に対応した校内研修の充実をはじめ、公開研究指定事業の継続実施や、各種研修会への積極的な参加や美唄市教職員サマーセミナーを開催して、美唄の歴史や産業などを授業に生かしていけるよう、「ふるさと美唄研修」等を継続し、こう

した研修を通じて教職員の資質の向上に努めてまいります。「学校施設整備の整備」については、中央小学校大規模改修工事を継続するほか、学校統合に伴うスクールバス 2 台を新たに配置します。次に 13 ページになりますが、3 社会教育のところであります。「青少年の健全育成」については、その基本認識を述べた上で、各種体験教室や優良青少年褒章などの継続などの継続のほか、引き続き、学校・家庭・地域・関係団体等と連携し、必要な指導と啓発を行ってまいります。放課後児童施設については、引き続き、安全・安心な施設の管理運営に努めてまいります。14 ページになりますが、「生涯学習活動の充実」については、地域の人材等が相互に連携して、地域資源を活用した生涯学習機会として仮称市民カレッジなどの講座を実施するほか、地域に根ざし、暮らしに学ぶまちづくりの一環として、郷土史料を活用しながら、美唄の子供たちに、住んでいるまち「美唄」に誇りと愛着を育むことや市民の皆さんと一緒に、美唄の歴史や美唄の良さの再発見につなげる活動などを進めてまいります。こうした取り組みを推進するにあたり、だれもが郷土史料館を利用しやすい環境とするため、無償化を図ってまいります。図書館については、蔵書の充実を図るとともに、指定管理者による創意工夫による企画展示や宅配サービスなど、指定管理者と連携を図りながら利用しやすい図書館づくりに努めて 15 ページになりますが、子供の読書活動については、ブックスタート事業や読み聞かせなどを継続するほか、学校配本事業等により子供の読書習慣を育成する環境づくりを進めてまいります。「文化芸術の振興」については、文化団体等と連携を図り市民文化祭をはじめとするイベントを開催するほか、市民の皆さんに、文化・芸術に参加する機会と触れる機会の充実に努めてまいります。公民館・市民会館については、文化活動等充実につながるよう利用促進に努めてまいります。安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄は、文化芸術交流などが促進されるよう、指定管理者と連携を図りながら、適切な管理運営に努めてまいります。「文化財の保護」については、有形文化財は現状保存に努めるとともに、無形文化財である峰延獅子舞峰延傘踊りは保存会との連携を図ってまいります。日本遺産登録の構成文化財である旧栄小学校、竪坑櫓などについては、保存の手法の検討や整備等に生かしていくための調査等を行います。東明駅舎及び SL については、屋根改修や車体塗装の財源確保の手法としてガバメントクラウドファンディングに取組み令和 3 年度の改修に向けて寄付を募ってまいります。「社会教育施設の整備」については、指定管理者と連携し、適切な維持管理に努めていくほか、市民会館については、老朽化した屋内消火栓の改修を行うほか、郷土史料館については、通年開館に向けて施設整備を行ってまいります。「生涯スポーツ振興」については、17 ページになります。各種スポーツ教育

や大会開催などを通じて、生涯スポーツの推進に取り組んでいくほか、こうした環境づくりや事業の推進にあたっては、スポーツ推進委員をはじめ、美唄市スポーツ協会や関係団体等と連携、協働しながら進めてまいります。「スポーツ合宿の誘致」については、市内のスポーツ施設を活用した合宿の受入れを行うとともに、クライミング協議を中心に PR 活動などを継続しながら、誘致に向けて取り組んでまいります。「スポーツ施設の整備」については、指定管理者と連携し、施設の適切な維持管理を図っていくほか、総合体育館については、サブアリーナの照明のLED化と非常用自家発電機を整備するほか、トレーニング室のランニングマシンを更新してまいります。4 むすびのところですが、以上、ただ今述べたような状況を踏まえまして、教育長としての決意を述べているものであります。ざっぱくではありますが、以上で令和2年度教育行政執行方針案の説明とさせていただきます。よろしくご審議くださいますよう、お願いします。

●天野教育長 ただ今、事務局から説明がありましたが、何かご質問等ありますでしょうか。それでは、議案第7号、令和2年 教育行政執行方針案について、ご承認をいただけますでしょうか。

●各委員 はい。

●天野教育長 それでは、議案第7号、令和2年 教育行政執行方針案について、原案どおり可決いたします。以上で本日の議事について、すべて終了いたしました。他に何かございませんか。ないようですので、これで令和2年第2回美唄市教育委員会議を終了いたします。ありがとうございました。

18:20 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

別紙 1

教 育 長 報 告

自 令和 2 年 1 月 21 日

至 令和 2 年 2 月 18 日

区 分	会 議 等
1月21日	第 1 回教育委員会議 教育委員室
23日	令和元年度課題研究発表会 美唄尚栄高等学校
28日	社会教育委員会議 市長会議室
2月 5日	令和 2 年度当初一般教職員人事異動に係る第 2 次協議 空知教育局（岩見沢市）
5日	受動喫煙に係るメッセージ選考会 市長会議室
12日	臨時教育委員連絡協議会 教育長室
14日	美唄市青少年センター運営委員会 教育委員室
18日	ランドセルカバー寄贈（コープさっぽろ） 教育長室

上記のとおり報告する。

令和 2 年 2 月 19 日

美唄市教育委員会

教育長 天 野 政 俊

1 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
22	水	第10回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	関係者
23	木				
24	金	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	市民
25	土				
26	日				
27	月				
28	火				
29	水	第3回青少年指導員専任指導員会議	15:30	大会議室	関係者
30	木	走り方教室	16:15	総合体育館	
31	金				

2 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	土	郷土史料館移動展(～13日)		ピパの湯ゆ～りん館	市民
2	日				
3	月				
4	火				
5	水				
6	木				
7	金				
8	土	おはなしの会 ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	市民
		市内小中学校絵画・書道展①(～16日)	9:00	安田彫彫刻美術館アルテピアッツァ美唄	市民
9	日				
10	月				
11	火				
12	水	第11回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	関係者
13	木	走り方教室	16:15	総合体育館	市民
14	金				
15	土	郷土史料館移動展(～25日)		コアびばい市民ふれあいサロン	市民
		おはなしの会 ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	市民
16	日				
17	月				
18	火				

3 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	日				
2	月				
3	火	第12回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
4	水	第12回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
5	木	走り方教室	16:15	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
6	金				
7	土				
8	日				
9	月				
10	火				
11	水				
12	木	走り方教室	16:15	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
13	金				
14	土	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
15	日	第26回ポロピネ3on3バスケットボールフェスタ	9:30	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
16	月				
17	火				
18	水				
19	木	走り方教室	16:15	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
20	金				
21	土				
22	日				
23	月				
24	火				
25	水				
26	木				
27	金	おはなしの会ブックスタート（3歳児）	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				